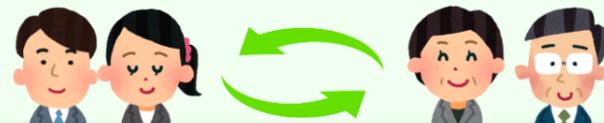




定期考査の共通化

ポイント:あくまで「基準の問題」+αの工夫の余地は残して導入。
各教科部会ごとの方法で共通化を図っている。

【メリット①】先生にとって



若手とベテランが共同作問することで、相乗効果
若手のOJTの機会⇔ベテランのマンネリ打破

【メリット②】生徒にとって

他校の先生が関わったテストは新鮮。
授業の質がUPし、生徒の学力にもプラス。

作問に係る時間や負担の軽減だけでなく、
「学び」の質向上につながっている。



GGKは「働きがい」と「働きやすさ」の両立

いきいきと働くことのできる学校とは、どんな環境でしょうか。今回は、「働きがい」も大切にしている学校の取組を紹介します。

キーワード:モチベーションとチームワーク向上

勝山市 荒土小学校

【働きがい】

1 全職員の「やりたい」をちりばめた “ワクワクスクールプラン”の作成

- 校務分掌を発表
- 管理職が全職員と個別面談
それぞれの「やりたい」を聞き取る
- 全職員の「やってみたい」をちりばめた
スクールプラン完成

テーマと重点目標
確かな学力
主体的対話的な言語活動による 確かな学力の育成
・子どもを主語にした授業づくりの工夫 ・子どもの読書活動の充実 ・ICTの活用

「学校づくり」に関われるから
高いモチベーションで働ける

→大項目は管理職で作成
→具体的取組に「やりたい」を反映

R5スクールプランから抜粋

“言葉の力”で

2 全職員のモチベーションをこまめにUP

- 校長先生が「ありがとうノート」にメモ
職員の一週間の「頑張り」「チャレンジ」記録
- 週案に「校長からのありがとうメッセージ」
月曜日出勤するとデスクに！

「見てもらえている」安心感◎

【働きやすさ】

1 給食の時間に職員が休憩可能に 給食指導体制の工夫

	Aグループ	Bグループ
偶数日	ランチルーム 給食指導	職員室で喫食
奇数日	職員室で喫食	ランチルーム 給食指導



- アレルギー対応
年度初めに情報共有や研修(エピペン等)徹底
- 縦割り制で5・6年生が低学年をサポート
半数の教職員でも指導可能

休憩のグループは
職員室でコミュニケーションも取りやすい◎

DX推進のための 特任チームを新設

- ★教頭 ★教務主任 ★研究主任
- ★情報主任 ★ICT得意な教員2名

- 校務支援システムの活用を支援
- 授業におけるタブレットの活用を支援

チーム制なので得意な先生だけの負担にならない！

プール学習の外部委託

以前



老朽化したプールの修繕
水量・水質の管理
水泳指導の技術・安全性の確保
天候に左右される

夏休みのプール開放も委託
屋内・温水なので、
中学校は9月～授業実施予定

委託後



市営プール(屋内の温水プール)を使用
→時期や天候に左右されないの計画的に実施できる
スイミングスクール(市営プール指定管理者)の指導員が指導
→プロから技術指導が受けられ、安心安全

校時表の統一

- 登下校時刻の統一
→地域全体で子どもを見守りやすい
- 時間割の調整がしやすく兼務しやすい
→免許保持者の少ない科目は兼務で対応
・特別免許状・臨時免許状を発行するより、
免許のある教員が兼務することで専門性担保
・他の場面で兼務の先生をサポートする体制

知っていますか? こんなワード

アンコンシャス・バイアス

「●●は、こういうもの」「当たり前」として認識をしているものは数多くあると思います。そこから変えることが難しい状態は、「アンコンシャス・バイアス」がかかっていると言います。

GGKニュースの取材の中で多くの学校で「当たり前を疑うようにしている」ということを伺うことが多くあります。すべてを刷新することが必ずしも正しいとは言えませんが、まずは、「なぜこの手段を取っているんだろう。」「変えることはできないものなのだろうか。」と考えることから始めてみると良いかもしれませんね。

編集後記

GGKニュース2023の発行が今号で10号となりました。令和4年度発行分と合わせると、次号で20号となります。これもひとえに、現場で尽力される教職員のみなさんの日ごろの創意工夫が数多くあること、そしてそれを快く紹介して下さる市町教育委員会や各学校長、教育庁各課のみなさまのおかげです。いつも本当にありがとうございます。

これからも、「ふくいの子どもたちと先生のための」GGKニュースとして現場取材し、つなげて参ります。お気軽に取材の依頼もお送りください。

次号 VOL.11も
お楽しみに！



主体的に「やりたい」「やってみたい」にチャレンジできるからこそ、課題解決につながっています！

読書・自己肯定感・外あそびが課題であった同校。保護者と子どものアンケート結果では数値が高まっています。特に教員のアイデアで始まった毎月変わる読書企画運営やコーナーの設置などの取組が読書量UPにつながっています。

職員室は以前よりにぎやかになり、とても良い雰囲気の中、活発なコミュニケーションが取れているそうです。